

受賞者 高橋真弓氏

対象事項 静岡県を中心とした蝶類の分布調査、キマダラヒカゲ属の *Neope* が2種からなることを明らかにした研究、ペルーの蝶類の分布調査研究。

授賞理由 静岡県の蝶類分布調査はその後の全国の分布調査の進展の基礎となった。

キマダラヒカゲが2種であることを発見したことは日本の蝶類研究史上最も大きな業績のひとつである。

ペルーにおける蝶類の分布調査はその後の日本人による海外の蝶類の調査に先鞭をつけたものである。



受賞講演

高橋真弓氏

先日 80 歳になりましたが、健康には気をつけています。
この蝶はなぜここにいるのか、ということに高校生の頃から関心を持っていて、静岡県の蝶を研究していましたが、1967,73 年に船で何日もかけて行った南米で、地球の反対側でも種は存在するのだということをあらためて知りました。種とはどういうものかということと、日本の蝶の位置づけについてこれからも研究していきたいと思っています。

